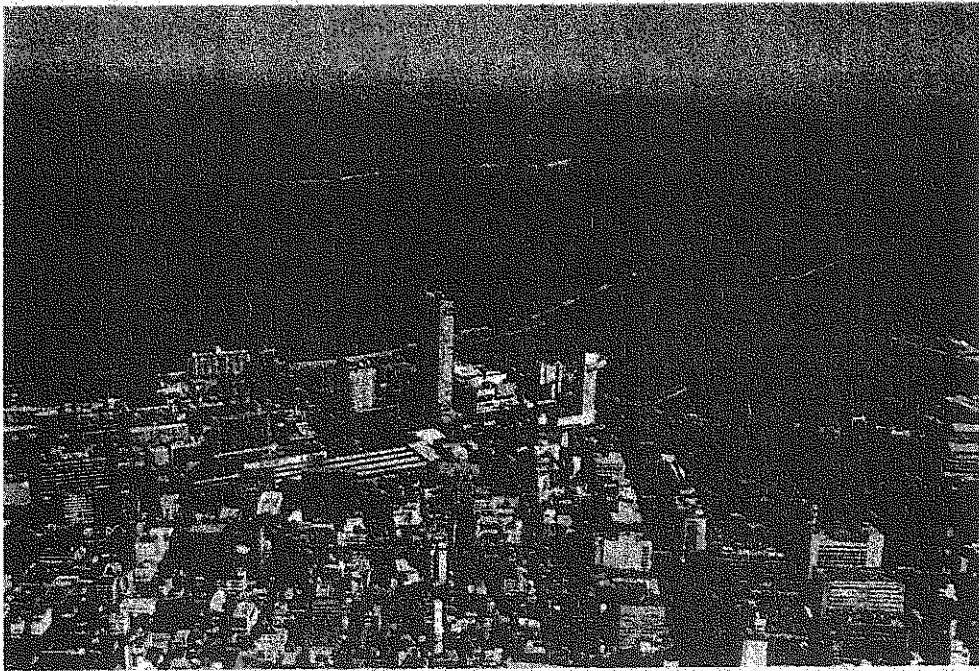


平成23年度第1回  
瀬戸・高松広域定住自立圏  
共生ビジョン懇談会  
資 料

平成23年8月2日(火)  
高松市役所  
13階大会議室



# 瀬戸・高松広域定住自立圏の取組について

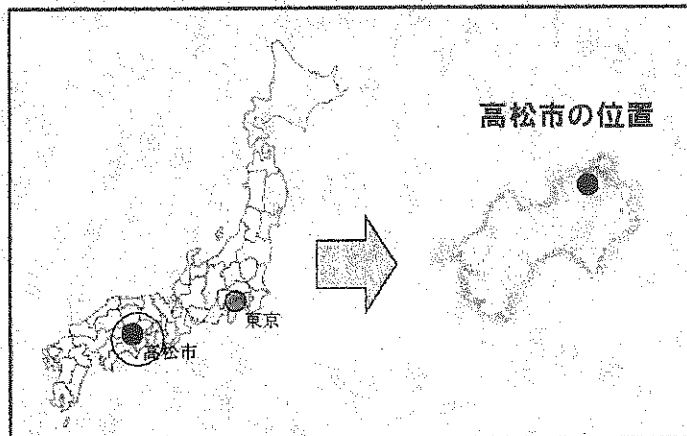


1

## 1

## はじめに ～高松市について

- ①人口:419,291人
- ②世帯数:174,255人  
(平成22年国勢調査速報)
- ③面積:375.12km<sup>2</sup>
- ④高松の特産品(伝統的工芸品)



庵治石



盆栽  
黒松(市木)

漆器  
蒔繪(きんま)

### 【高松市】

四国の北東部、香川県のほぼ中央に位置した、人口約42万人の県庁所在地。

これまで、人々の暮らしや経済・文化など様々な面において、美しい瀬戸内海との深いかわりの中で、四国の中枢管理都市として発展を続けてきた、海に開かれた美観都市である。

2

## 2

# 主要プロジェクト

### I 市民主体のまちづくり



- ・自治基本条例
- ・自治と協働の基本指針

### II コンパクトで美しいまちづくり



- ・中心市街地の活性化
- ・多核連携型コンパクト・エコシティの推進

### III 広域的なまちづくり



「瀬戸・高松広域定住自立圏共生ビジョン」に基づく周辺5町との連携

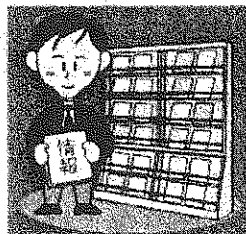
## 3

# 自治基本条例

## 自治基本条例に掲げる自治の基本原則

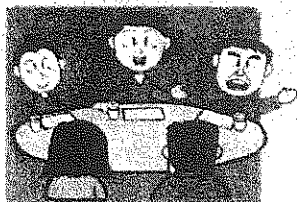
### I 情報共有の原則

市民と市が市政に関する情報を共有します。



### II 参画の原則

市政や地域のまちづくりを市民の参画によって進めます。



### III 協働の原則

市民と市が対等な立場で、市政や地域の課題の解決に共に取り組みます。



# 4

## 自治と協働の基本指針

～みんなでこっしゃえよう うまげな高松～



### 目指すべき理想像

地域の特性を生かし多様な主体が参画・協働するまちづくり

### 取組の方向性

#### I 人材育成

活動のリーダーや企画・運営を行う人、活動推進のノウハウを持ち、まちづくりのコーディネートを担当する人などを育成する。

#### II 組織運営の充実・強化

地域コミュニティ協議会や市民活動団体の活動を支援する中間支援組織などの機能を高めるとともに、CSR（企業の社会的責任）の取組を進める。

#### III 団体同士の連携

市民活動団体や地域の各種団体は、地域コミュニティ協議会を構成する組織として相互に協力、連携し、地域の課題解決に向けて活動する。



### 行政の支援体制の拡充

環境づくり

職員の育成

行政の組織体制整備

# 5

## 中心市街地の活性化

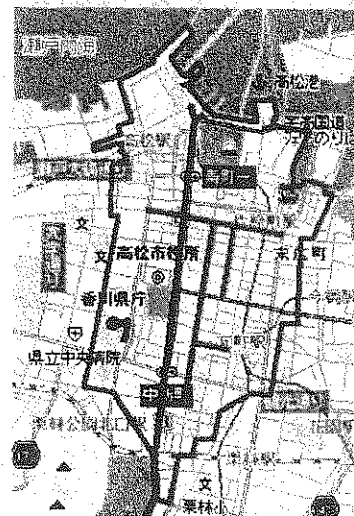
### 中心市街地の位置および区域

- ①面積：250ha
- ②用途地域：商業地域

- 中心市街地の位置および区域
- 中央通り
- 中央商店街

### 中心市街地活性化のコンセプト

～豊かな暮らしの循環に惹かれて、人が集うまち～  
 コミュニティと行政が連携したエリアマネジメントにより、連鎖型で再生が進む、にぎわい・回遊性のあるまちづくりを目指して

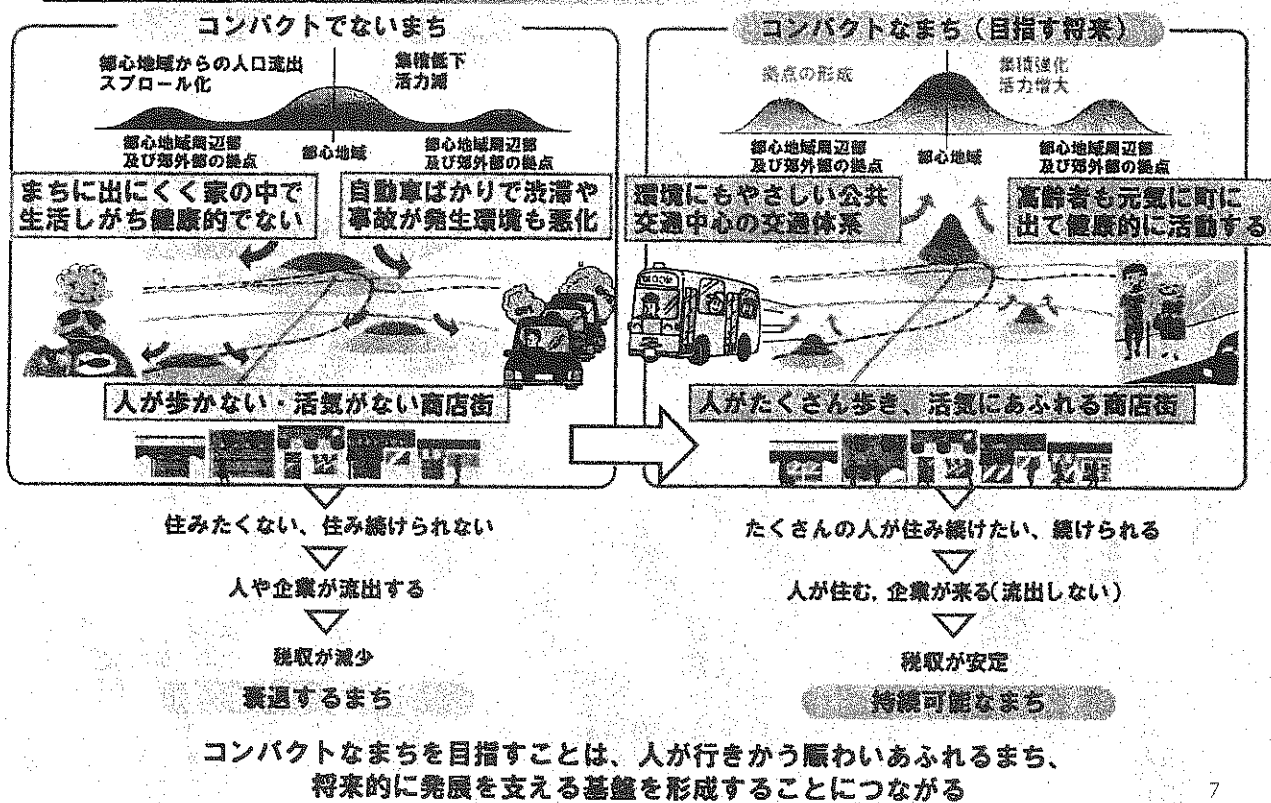


### 活性化に向けた3つの基本的方針と目標

基本的な方針	中心市街地の活性化の目標	指標	現況値(H18)	目標値(H23)
商業・サービスの高度化	テナントミックス等による商業・サービスの魅力強化と効果の波及	中央商店街の空き店舗率(全フロア)	18.1%	14.2%
		中心市街地の小売業年間商品販売額	104,984百万円	110,000百万円
回遊したくなる中心市街地づくり	来街者の回遊促進	中央商店街での歩行者・自転車通行量(休日)	119,844人	150,000人
定住人口の増加	魅力的な住宅供給による居住促進	中心市街地内の定住人口	20,385人	21,700人

6

# 多核連携型コンパクト・エコシティの推進



7

# 瀬戸・高松広域定住自立圏形成の経過等

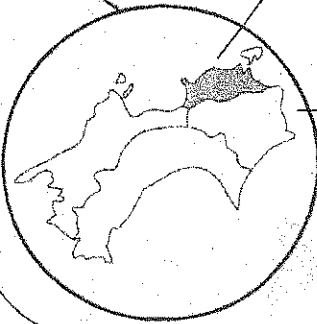
平成20年10月28日	国の先行実施団体に選定
21年 3月 4日	中心市宣言（高松市）
4月17日	21年度第1回瀬戸・高松広域定住自立圏推進委員会
10月19日	21年度第2回瀬戸・高松広域定住自立圏推進委員会
12月9～18日	定住自立圏の形成に関する協定の締結について各市町の議会でそれぞれ議決（23施策・36事業）
22年 1月14日	瀬戸・高松広域定住自立圏の形成に関する協定合同調印式
1～3月	21年度第1～3回瀬戸・高松広域定住自立圏共生ビジョン懇談会
3月29日	21年度第3回瀬戸・高松広域定住自立圏推進委員会
3月30日	瀬戸・高松広域定住自立圏共生ビジョン策定
23年 1月14日	瀬戸・高松広域定住自立圏の形成に関する協定を締結（追加・拡充）
3月28日	瀬戸・高松広域定住自立圏共生ビジョン（23年度新規・拡充事業）策定

## 瀬戸・高松広域定住自立圏の構成市町

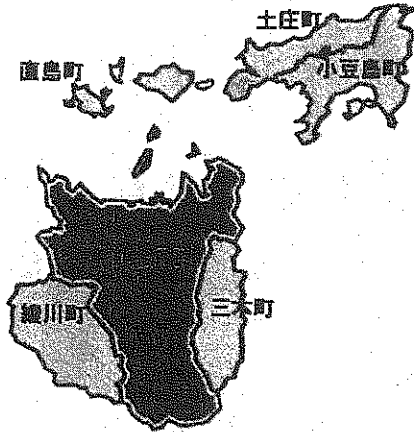
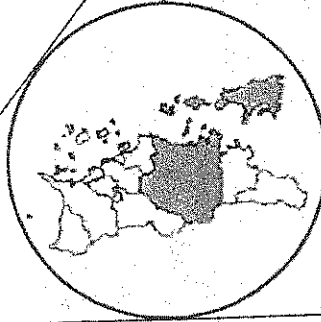
### ◇ 1市5町

- ・高松市（中心市）
- ・土庄町
- ・小豆島町
- ・三木町
- ・直島町
- ・綾川町

四国



香川県



- ・圏域人口 約50万5千人
- ・圏域面積 約744km<sup>2</sup>  
（海洋部を含めた面積：約1,000km<sup>2</sup>）

9

## 瀬戸・高松広域定住自立圏の将来像

### ①圏域内で定住できる環境づくり

- ・中核拠点性の強化
- ・集約とネットワーク

### <目指すべき圏域像>

島、街、里が織りなす  
重層的なネットワークに支えられた  
創造性豊かな中核・生活交流圏域

### ②創造性豊かな海園・田園・人間都市づくり

- ・海、野、山を生かす
- ・島、街、里が一体的に融合

### ③安全で安心して健やかに暮らし続けられる地域づくり

- ・協働による事業実施
- ・居住する住民の生活機能を確保

# 瀬戸・高松広域定住自立圏の 具体的取組

11

## 11 連携施策の概要

### 1 生活機能の強化

- 医療  
(医療を安定的に提供できる体制の確保)  
(救急医療体制の確保)
- 福祉  
(子育て支援および高齢者保障の充実)  
(広域的な審査会の実施)
- 教育  
(中学校総合体育大会等の連携)
- 産業振興  
(観光の振興)  
(中心市街地におけるにぎわいの創出)
- その他  
(消防・防災体制の強化)  
(一般廃棄物処理体制の確保)  
(不法投棄の防止)

### 3 圏域マネジメント能力の強化

- 圏域内市町の職員等の交流  
(職員の交流・人材育成等)
- その他  
(大学等との連携事業)

### 2 結びつきやネットワークの強化

- 地域公共交通  
(公共交通機関の利用促進)  
(海上交通の確保・充実)
- ICTインフラ整備  
(ブロードバンド利用環境の向上等)
- 地産地消  
(中心市街地における直売所の整備および活用)
- 地域内外の住民との交流・移住促進  
(自然体験等を通じた住民の交流の促進)
- 文化芸術  
(文化的資産の活用)  
(文化芸術鑑賞等の機会の提供)  
(瀬戸内国際芸術祭関連事業の実施)
- その他  
(図書館サービスの提供)  
(圏域情報の発信および共有化)  
(高松市屋島陸上競技場の活用)  
(環境への配慮)  
(地域密着型トップスポーツチームの試合観戦機会等の提供)

12

# 遠隔医療ネットワークを使った連携

●連携市町 1市5町

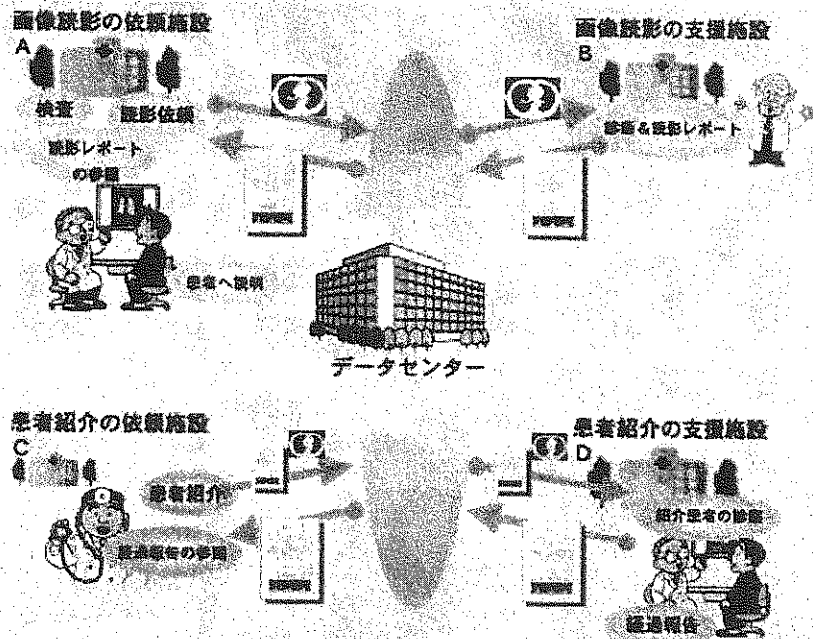
【事業概要】

かがわ遠隔医療ネットワークを利用して、診療情報の交換、地域の医療機関相互の情報の交換、患者の受渡しなどを行う。

【成果】

地域の医療機関の連携を強化し、医療を安定的に提供できる体制を確保する。

## かがわ遠隔医療ネットワークのイメージ図



13

# 救急艇の活用

●連携市町 1市3町

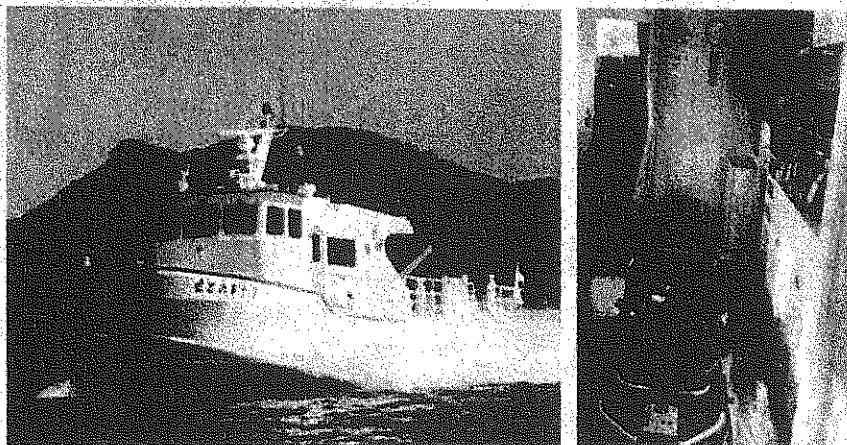
【事業概要】

高松市が整備した救急艇「せとのあかり」を活用して海上搬送ネットワークを構築し、島しょ部の救急患者等の搬送を行う。

【成果】

圏域の島しょ部における救急搬送体制を強化する。

## 救急艇「せとのあかり」



◇概要

全長18.8メートル、幅4メートル、重量19トン、定員18人、最高速度は時速60キロ。人工呼吸器や吸引器など、救急車と同じ機器を備え、搬送中も船内で救命措置ができる。



# 14 ファミリー・サポート・センター事業

●連携市町 1市2町

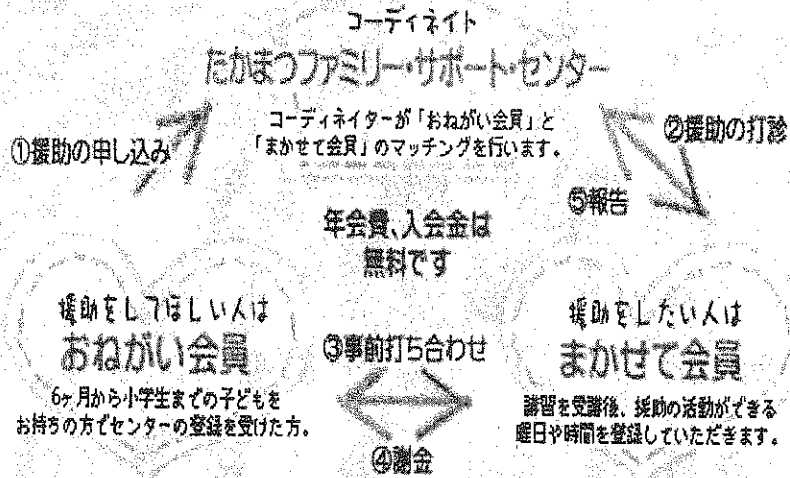
## たかまつファミリー・サポート・センターのイメージ図

【事業概要】

会員同士が地域において、育児について相互援助活動を行う。

【成果】

仕事と育児の両立できる環境を整備するとともに、地域の子育て支援を行い、労働者の福祉の増進と育児の福祉の向上を図る。



◇登録状況について  
(H23年3月31日現在)  
1,635人

◇利用実績について  
(H22年度)  
5,900件

# 15 イベント交流の促進

●連携市町 1市3町

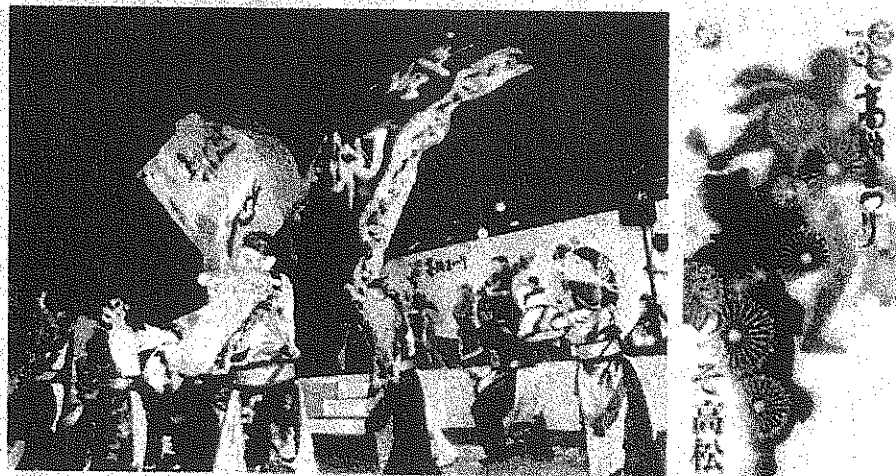
## さめき高松まつり

【事業概要】

中心市および周辺町の祭りや各種イベントなどにおいて、周知宣伝活動を行うとともに、相互交流に取り組む。

【成果】

祭り・イベントなどでの交流により、交流人口が増加し、圏域が活性化するとともに、連携して周知宣伝活動を行い、より広く情報が発信される。



町名	祭り・各種イベント等の例
高松市	さめき高松まつり、たかまつ食と文化のフェスタ
土庄町	小豆島まつり
三木町	獅子舞フェスタ
綾川町	サマーフェスティバル



# 18 海上交通の確保・充実

●連携市町 1市3町

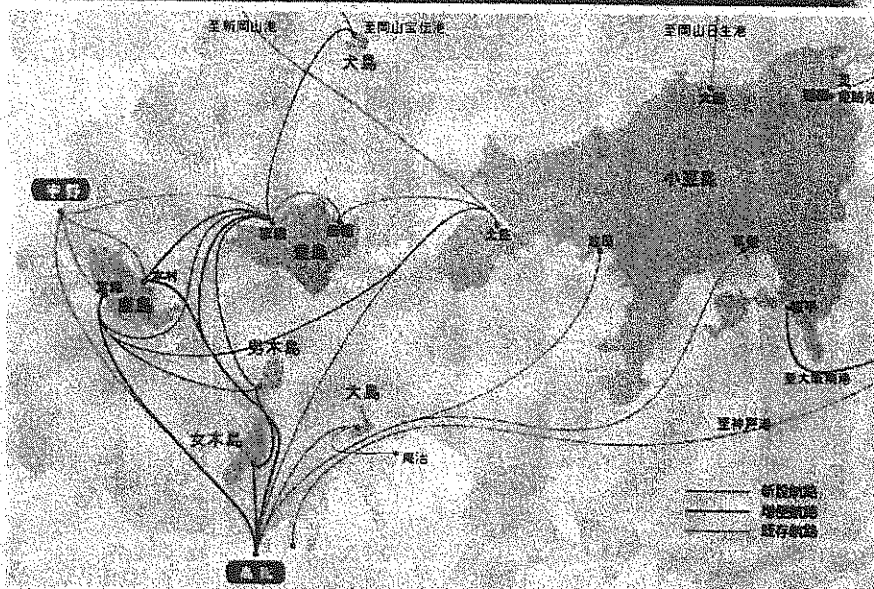
【事業概要】

海上交通利用者の利便性の向上に取り組むとともに、瀬戸内国際芸術祭の開催に当たり、必要な交通手段の確保・充実に関する支援を行う。

【成果】

海上交通の確保・充実に寄与する。

「瀬戸内国際芸術祭2010」開催に伴う海上交通の充実



芸術祭実行委員会の一員として、芸術祭会期中(7/19~10/31)、直島・男木島・豊島便などの航路新設や高松・女木島・男木島便の増便を実施した。また、男木航路において旅客運賃値下げ施策を実施した。芸術祭終了後も、最終便の増便を12月26日まで延長した。

# 19 文化芸術鑑賞等の機会の提供

●連携市町 1市5町

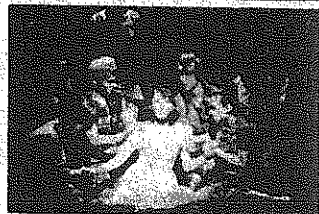
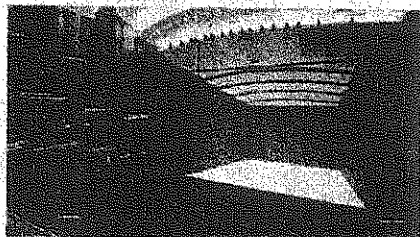
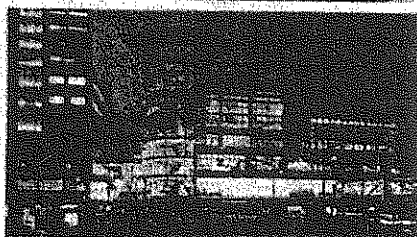
【事業概要】

中心市と周辺町が共同して文化芸術事業を主催し、圏域内の児童・生徒等を招待する。

【成果】

圏域内の住民に優良な文化芸術鑑賞等の機会を提供する。

サンポートホール高松



撮影：阿部章仁(写真はこれまでの公演より)

サンポートホール高松の近くには、香川県県民ホールがあり、市民は豊かな文化芸術に触れる機会に恵まれている。

大ホールは、プロセニウム型ホール。演劇・音楽などの舞台芸術はもちろん、会議・集会にも対応できる高性能・高品質の多機能型ホール。

客席は最大1,500席。

平成22年度“こころの劇場”劇団四季ミュージカル「エルコスの祈り」の小学生招待公演では、本市と定住自立圏を構成する周辺5町の小学6年生、約4,300名を無料で招待した。

20

# 瀬戸内国際芸術祭関連事業の実施

●連携市町 1市3町

瀬戸内国際芸術祭2010(7/19~10/31)

わらアート

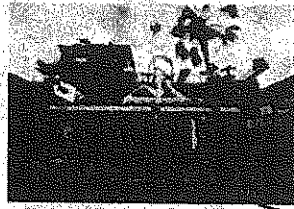
【事業概要】

瀬戸内国際芸術祭関連事業を実施する。

【成果】

芸術祭の開催効果を高め、持続させる。

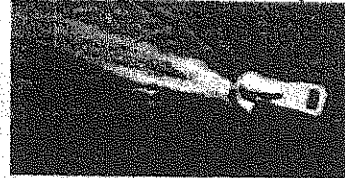
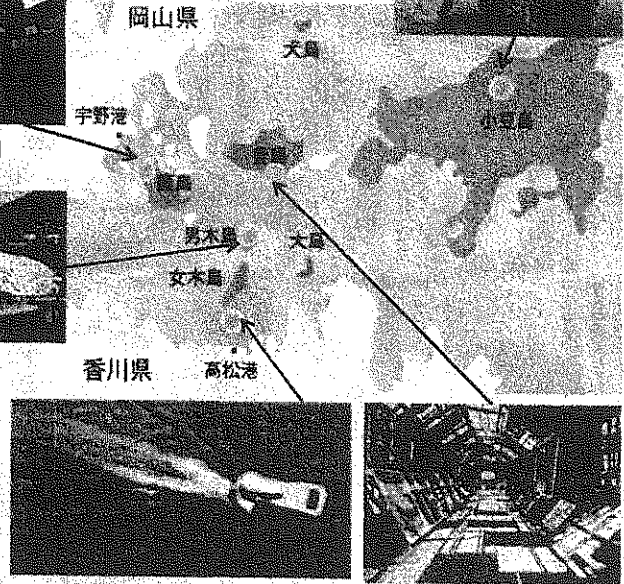
芸術祭開催期間中に、芸術祭の趣旨にかなう文化芸術事業を実施した。



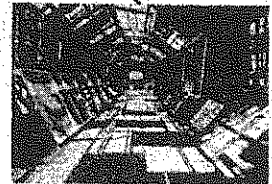
直島銭湯「Ivami」



男木交流館「男木島の魂」



ファスナーの船



遠い記憶

21

21

# 移動図書館の開設

●連携市町 1市1町

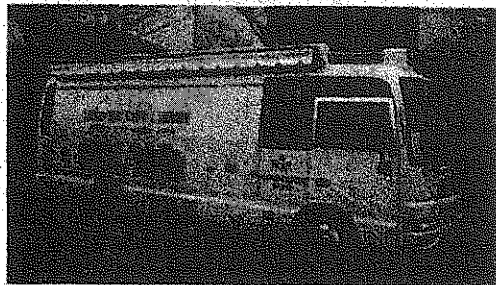
移動図書館車（ララ号）

【事業概要】

高松市が直島町へ市所有の移動図書館車を派遣し、図書の出・返却、リクエスト対応などの図書館サービスを提供する。

【成果】

図書館のない直島町で、図書館サービスを提供する。



ララ号には、絵本を始め、料理本・旅行本・小説など、約3,000冊が搭載されている。

直島町の西部公民館と東部公民館に、毎月1回巡回している。一度に15冊まで借りられ、貸出期間は翌月の移動図書館巡回日までの約1ヶ月間。

# 22

## 合同研修等の実施

●連携市町 1市5町

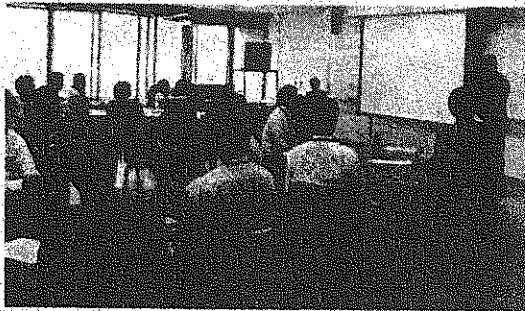
### 【事業概要】

圏域外から専門講師等を招へいするなどして合同研修等を行う。

### 【成果】

各市町職員の資質向上および圏域マネジメント能力を強化する。

### 合同研修



民間企業から迎えた講師の講話や、グループ演習等を通じ、職員の資質向上や交流に努めた。

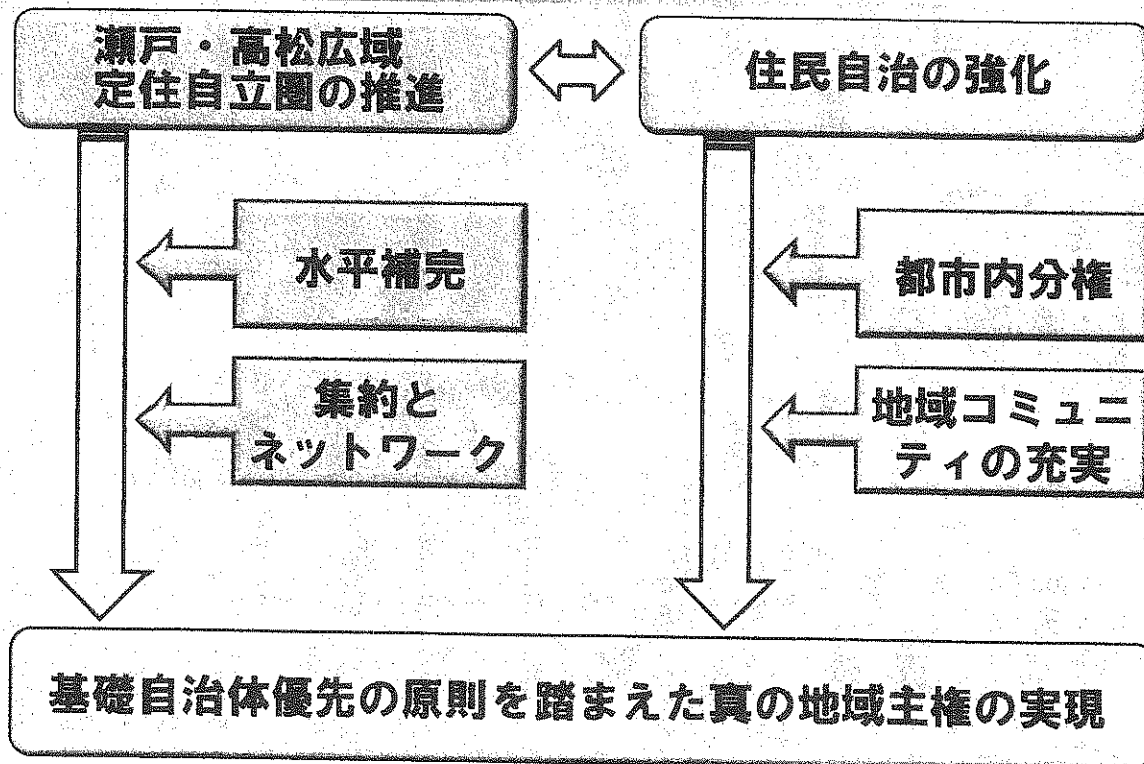
### 交流研修



元総務大臣の増田寛也氏をお迎えし、「地域の自立（自律）と自治体経営」と題して教養講演会を実施した。

# 23

## これからのまちづくり



## 2 定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的取組

### 2 定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的取組

【取組事業一覧】

○は、連携する取組を示します。

視点	政策分野	施策	区分	施策に係る取組(事業)	連携する周辺町				
					土庄	小豆島	三木	直島	綾川
生活機能の強化	a 医療	1 医療を安定的に提供できる体制の確保	継続	(1)遠隔医療ネットワークを使った連携	○	○	○	○	○
			継続	(2)医療機関の整備推進等	○	○	○	○	○
	継続		(3)医療職員の交流等	○	○	○	○	○	
		2 救急医療体制の確保	継続	(1)救急医療体制の整備			○	○	○
			新規	(2)救急艇の活用	○	○		○	
	b 福祉	3 子育て支援および高齢者保護の充実	継続	(1)ファミリー・サポート・センター事業			○		○
			継続	(2)高齢者セーフティネットワーク事業			○		○
		4 広域的な審査会の実施	継続	(1)介護認定審査会業務の連携			○	○	○
			継続	(2)障害程度区分等審査会業務の連携			○	○	○
	c 教育	5 中学校総合体育大会等の連携	継続	中学校総合体育大会等の連携			○	○	
	d 産業振興	6 観光の振興	継続	(1)観光プロモーション事業	○	○	○	○	○
			継続	(2)新たな観光プランの企画、販売等	○	○	○	○	○
			継続	(3)国内外観光客向け情報発信事業	○	○	○	○	○
			新規	(4)イベント交流の促進	○		○		○
	e その他	8 消防・防災体制の強化	継続	(1)災害時の応援体制等	○	○	○	○	○
			継続	(2)香川県消防相互応援協定	○	○	○	○	○
			継続	(3)高松空港およびその周辺における消火救難活動に関する協定			○		○
			継続	(4)消防業務の事務委託			○		○
		9 一般廃棄物処理体制の確保	継続	(1)一般廃棄物の処理業務			○		○
			継続	(2)し尿処理業務			○		○
継続			(3)し尿貯留槽管理業務			○		○	
継続			(4)一般廃棄物の埋立処分業務			○		○	
10 不法投棄の防止		継続	不法投棄対策事業の推進	○	○	○	○	○	
結びつきやネットワークの強化		a 地域公共交通	11 公共交通機関の利用促進	継続	公共交通機関の利用促進			○	
	12 海上交通の確保・充実		継続	海上交通の確保・充実	○	○		○	
	b ICTインフラ整備	13 ブロードバンド利用環境の向上等	継続	ブロードバンド利用環境の向上等	○	○	○	○	○
		c 地産地消	14 中心市街地における直売所の整備および活用	継続	(1)中心市街地における直売所の整備および活用	○	○	○	○
	継続		(2)特産品の周知宣伝等	○	○	○	○	○	
	d 地域内外の住民との交流・移住促進	15 自然体験等を通じた住民の交流の促進	継続	自然体験等を通じた住民の交流の促進	○	○		○	○
	e 文化芸術	16 文化的資産の活用	継続	文化的資産の活用	○	○			
		17 文化芸術鑑賞等の機会の提供	継続	文化芸術鑑賞等の機会の提供	○	○	○	○	○
		18 瀬戸内国際芸術祭関連事業の実施	継続	瀬戸内国際芸術祭関連事業の実施	○	○			
	f その他	19 図書館サービスの提供	継続	移動図書館の開設				○	
		20 圏域情報の発信および共有化	継続	圏域情報の発信および共有化	○	○	○	○	○
		21 高松市屋島陸上競技場の活用	継続	高松市屋島陸上競技場の活用	○	○	○	○	○
		22 環境への配慮	新規	(1)環境学習の推進	○	○	○	○	○
			新規	(2)環境負荷の少ない自動車の普及促進	○	○	○	○	○
23 地域密着型トップスポーツチームの試合観戦機会等の提供	新規	地域密着型トップスポーツチームの試合観戦機会等の提供	○	○	○	○	○		
圏域マネジメント能力の強化	a 圏域内市町の職員等の交流	24 職員の交流・人材育成等	継続	合同研修等の実施	○	○	○	○	○
	b その他	25 大学等との連携事業	継続	取組事項の研究交流	○	○	○	○	○
事業数 計41 各町別事業数計					27	26	32	30	35
上記41のうち新規5 各町別新規					5	4	4	4	4
上記41のうち継続36 各町別継続					22	22	28	26	31

※網掛け部分は、平成23年度から新たに連携する取組および内容を変更する取組を示します。

# 瀬戸・高松広域定住自立圏共生ビジョン懇談会委員

平成23年8月1日現在

分野	氏名	役職等
学識経験者	◎ 井原 健雄	香川大学名誉教授
	○ 嘉門 雅史	香川高等専門学校校長, 京都大学名誉教授
	関 義雄	香川大学大学院地域マネジメント研究科教授
	佃 昌道	高松大学学長
	時岡 晴美	香川大学教育学部教授 (高松市男女共同参画センター運営委員会会長)
医療	曾我部 輝久	高松市医師会会長
福祉	平尾 満知子	特定非営利活動法人香川県ボランティア協会理事
教育	好井 明子	高松市PTA連絡協議会相談役
産業振興	吉田 洋子	高松商工会議所女性会副会長
地域交通	宮本 美枝子	“ぐるっと高松”公共交通を考える会代表
文化	佐伯 勉	(財)高松市文化芸術財団理事長
移住・交流	三井 文博	特定非営利活動法人アーキペラゴ理事長
公募	岩瀬 雅宏	
	熊 紀三夫	

◎ 会長, ○副会長

(敬称略・区内五十音順)